

### 日本光学会平成 15 年度第 3 回常任幹事会議事録

日 時： 2004 年 3 月 12 日（金） 13：30～17：30

場 所： 応用物理学会会議室

出席者： 山本幹事長，他 20 名

議 事：

#### 1. 前回議事録に関する質問事項

- ・前回議事録に関する質問はなく，承認された。

#### 2. 報告事項

##### 2-1. 編集委員会関連報告

###### (1) 「光学」編集報告

- ・出版費用の一覧が示され，2 か月遅れで収支が明確になってきたとの説明があった。
- ・編集委員については，現在例年より 2 名少ない状態なので，次年度は 2 名増員する。2 名の増員については，すでに承認済みであるとの報告があった。

###### (2) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・特集の予定が示された。

##### 2-2. 講演会関連報告

###### (1) 第 30 回冬期講習会実施報告

- ・収支報告があった。
- (2) 平成 15 年度名古屋講演会実施報告
  - ・ 2 月 28 日に岡崎国立共同研究機構岡崎コンファレンスセンターにて実施した。
  - ・参加者は 27 名であり，過去 3 年間では最も多く，活発な討論が行われ盛会であった。

###### (3) 光学シンポジウム進捗報告

- ・進捗は順調である。例年通りの発表件数となった。
- ・「光学」4 月号にプログラムを掲載する予定である。
- ・雑誌，チラシ，ホームページ，ポスター，電子メールにて開催案内を行う計画であるが，ホームページのアクセスカウントは 3 月 9 日現在で 3,300 回を超え，例年の 2 倍程度となっている。

###### (4) Optics Japan 2004 進捗報告

- ・ 11 月 4 日，5 日に開催する予定であり，3 月 11 日に準備委員会を開催したとの報告があった。

###### (5) サマーセミナー進捗報告

- ・ 8 月 20，21 日に静岡県裾野市の富士教育研修所で開催する。
- ・立体視の基礎から 3D ディスプレイ応用のホットな話題まで幅広い内容のプログラムとなっている，講演者から内諾は得られている，予算は例年と同じである，等の説

明があった。

- ・サマーセミナーに関してはスポンサーである応用物理学会にポスター等をお願いすることが確認された。

#### 2-3. その他報告事項

##### 1. 協賛依頼について

- ・資料に記載された 3 件すべてが承認された。
- ・SPIE Photonics Asia への協賛 1 件も追加で承認された。

##### 2. 会員動静

- ・大きな変動はないが，特別会員 A（光学のみ会員）が 18 名増えた。

##### 3. 研究グループ活動報告

- ・研究グループの活動報告，会計報告，16 年度予算説明があった。
- ・各研究グループとも活発に活動しており，16 年度も同じように活動する。

(1) イメージサイエンス研究グループに関しては活動休止中であったが，再開の方向で検討をはじめた。

(2) 近接場光学研究グループは研究の幅を広げるため，ナノオプティクス研究グループに名称を変更する。

(3) 光学会からの補助金は 16 年度も継続する。

- ・上記 (1) (2) (3) について承認された

##### 4. 環境改善委員会報告

- ・ソサイアティ制検討要請は，応物学会将来構想検討ワーキンググループの報告書（応用物理学会の課題と中長期展望）の中で，“ソサイアティ制度などの導入の可否について”と題し，将来検討課題として位置付けられたとの報告があった。
- ・環境改善委員会はこれをもって解散することも決められた。

##### 5. 企画運営委員会報告

- ・OR 電子出版（審議事項で詳細）について，Springer 社との契約に関する交渉内容と進め方を検討したとの報告があった。
- ・「光学」編集委員任命に関する内規を作ったほうがよいとの報告があった。
- ・ICOSN に関しては，まず日本光学会としての国際会議に関する基本的考え方を詰めた上，方針を決める。この方向をもとにワーキンググループで検討し，幹事会に答申するとの報告があり承認された。
- ・日本光学測定機工業会主催の光計測シンポジウムの件

は、協賛しているが、実行委員を派遣しており実際の運営活動にも加わっているというのが現状である。平成17年度からは実行委員の派遣をいったん白紙状態に戻し、通常の協賛のケースと同様に対応する。光ナノテクフェアのブース提供も今後はケースバイケースで考えるとの報告があった。この件は承認された。

#### 6. 将来計画委員会答申案

- ・委員会の結論としての答申案（改訂版）が示され、説明があった。
- ・5月の幹事会にて承認を求め、「光学」に答申案を掲載する予定である。

1) 学会としての活力を高めるため間口を広げ、会員を増やす

2) 東アジアとの共同事業を進める

3) 重点分野の設定

4) 他学会との連携

- ・答申案が承認された場合、具現化は新幹事長の采配となる。
- ・来年度は新委員となる。

#### 7. 会計

- ・予算取扱、請求伝票などの説明があった。
- ・会計年度（12月締め）と事業年度（3月締め）に注意のことというコメントがあった。

#### 8. 「光学」編集委員会名簿

- ・平成16年度の編集委員名簿が示された。
- ・委員長任期2年、副委員長1年である。
- ・平成16年度の編集委員の件は承認された。

#### 9. 学会事務センター関連会社使い込みの件

- ・幹事長宛に学会事務センターから説明、お詫びの連絡（手紙）があった。日本光学会には迷惑は掛からないので安心して下さいとの報告があった。

#### 3. 審議事項

##### (1) 総会資料（事業報告・会計報告）

- ・総会は、3月29日に開催される予定である。
- ・平成15年度事業報告と平成16年度事業計画の資料説明があった。年度報告なので開始は4月からに変更するというので、総会資料の件は承認された。

##### (2) 平成15年度収支決算

- ・平成15年度収支決算の説明があり承認された。総会資料とする。

##### (3) OPTICAL REVIEW

- ・オンライン版出版企画ではSpringer社に海外頒布権があることから、電子化が進まなかった。
- ・今回の国内における調査結果ではオンライン化には高額

な費用が必要であり、初期投資だけならばよいが、ランニングコストが高いということがわかった。写真や図の質を問題としないならば安い、質を維持するとなると高い。電子出版については早期に実現させるということを一優先として進める。

- ・この方針に沿い、Springer社と覚書の改訂についての交渉を進めるという報告と提案があり、承認された。

#### (4) 収支計算

- ・平成16年度1月1日から2月29日までの収支計算書が提出された。

### 第172回幹事会

2004年5月14日（金）に応用物理学会会議室において開催されました。「光学」「OR」の編集委員会報告、光学シンポジウム、サマーセミナー、3次元画像コンファレンス、Optics Japan 2004、ICO'04進捗報告、北海道地区活動計画報告がなされました。また、協賛依頼、会員動静、産官学連携、会計、Optics Japan 2005、応用物理の次期会員サービスシステム等について報告がなされました。さらに、年度計画、光学論文賞募集要項・審査委員、奨励賞審査委員、幹事選挙、Optics Japan 2004予算案、光ナノテクフェア展示、分科会A会員事務経費負担額の増額、SPIEとの協定の追記事項、OR、中部地区担当者変更等について審議がなされました。なお、詳しい幹事会議事録は第33巻第9号に掲載予定です。

### 平成16年度光学論文賞受賞候補者の募集

応用物理学会では光学の分野における優秀論文の著者に対し、下記のごとく光学論文賞を贈っています。本論文賞は45年の歴史をもち、光学奨励賞とともに日本光学会の活動度を示す重要な指標の役目を果たしております。光学論文賞規定については本号439頁をご覧ください。平成7年度からの光学論文賞規定の改訂により、光学論文賞は公募に応じた自薦、他薦の候補者から選考されます。奮ってご推薦ください。

受賞対象者：原則として表彰の年に満40歳未満の日本光学会会員あるいは応用物理学会会員であり、本年9月末日までの1年間に発行された学術刊行物に発表された光学に関する原著論文の第1著者。詳細は光学論文賞規定をご覧ください。

提出書類：候補者の氏名、会員番号、生年月日、満年齢（公募締切日における）、勤務先、勤務先所在地、自宅住所、連絡先、推薦理由（自薦他薦を問わず、論文の特徴、優れた点等を400字程度でわかりやすく記す）、候補

論文別刷6部(コピー可, 関連論文があれば2編以内でそれらの別刷またはコピーを1編につき6部ずつ添付), 他薦の場合は推薦者の氏名, 勤務先, 勤務先所在地, 連絡先.

書類提出期限: 2004年10月29日(金) 必着

提出先: 日本光学会庶務幹事 井出昌史

シチズン時計(株) MHT 開発本部技術研究所第5研究室 〒359-0001 所沢市下富 840

電話 04-2943-5173 Fax 04-2942-5836

E-mail: ide@citizen.co.jp

結果は「光学」第34巻第3号において発表する予定です.

### 平成17年度幹事立候補者募集

平成17年度新幹事選出(任期2年, 毎年半数交代)の候補者として, 本会の運営に熱意のある会員の方々の立候補を募集いたします. 役員選挙その他に関する内規は本号441頁をご覧ください. 候補者募集は自薦・他薦を問いませんが, 他薦の場合は本人の承諾を必要とします. 候補者の推薦理由をつけてご推薦をお願いします. 立候補照会および問い合わせは庶務幹事の大澤までお願いします.

立候補締切: 2004年8月10日(火)

問合せ先: 日本光学会庶務幹事 大澤日佐雄

〒360-8559 熊谷市御稜威ヶ原 201-9

(株)ニコン画像技術開発部

電話 048-533-4958 Fax 048-533-7458

E-mail: osawa.hisao@nikon.co.jp

### 平成16年度日本光学会奨励賞選考委員

第172回幹事会において平成16年度日本光学会奨励賞選考委員案が提出され, 下記のように決定いたしました.

委員長: 三尾典克(東大)

副委員長: 植田憲一(電通大)

委員: 門野博史(埼玉大), 裏 升吾(京都工繊大), 荒木 勉(阪大), 塩入 諭(千葉大)

### 第215回「光学」編集委員会

2004年5月12日(水)に, (財)日本学会事務センター東京第三事務所会議室において開催されました. 第34巻第1, 2号企画, 第34巻第3~7号構想案および第34巻第8, 9号担当について審議が行われました. また, 論文投稿・審査状況, 第33巻第4, 5号発刊後の反省, 第33巻6~12号の進捗状況についての報告, 会計および幹事会の報告がなされました. さらに, 臨時編集委員会の今後のあり方についての審議, 飛び込み解説記事の報告もなされました.

### ICO '04 Tokyo 開催案内

会議名: 2004 ICO 国際会議(ODF '04とICOSN '04の共同開催)

期 日: 2004年7月12日(月)~15日(木)

場 所: 幕張メッセ(千葉市美浜区)

主 催: 日本光学会, ICO(International Commission for Optics)

講演内容: 情報光学, ファイバー通信, バイオ・フォトンクス, 記憶装置, 計測, カメラ, 顕微鏡, リソグラフィ, 印刷, 三次元ディスプレイ等に関する理論, 設計, シミュレーション, 製造, 評価など.

申込等の詳細については, 「光学」第33巻第6号370ページ, またはホームページ(<http://www.ico-odf04.com/>)をごらんください.

### 第38回サマーセミナー

テーマ: 3Dディスプレイ一人を感動させる立体表現一

主 催: 日本光学会

期 日: 2004年8月20日(金), 21日(土)

場 所: 富士教育研修所(静岡県裾野市下和田656)

参加締切: 2004年8月5日(木)

申込等の詳細については, 「光学」第33巻第6号370~371ページをごらんください.

### カラーフォーラム JAPAN 2004 (第50回光学四学会連合講演会) 論文募集

期 日: 2004年11月16日(火)~18日(木)

場 所: 工学院大学(東京都新宿区西新宿1-24-2)

申込書および概要の提出期限: 2004年7月20日(火)

申込等の詳細については, 「光学」第33巻第6号371~372ページをごらんください.

### 第3回情報フォトンクス研究グループ研究会(秋合宿)

期 日: 2004年9月16日(木) 17:00 ~ 18日(土) 12:00

場 所: 徳島県立鷺敷青少年野外活動センター(徳島県那賀郡鷺敷町百合字松の木178)

主 催: 日本光学会情報フォトンクス研究グループ

テーマ: 情報フォトンクス技術の進展

光コンピューティング研究グループが情報フォトンクス研究グループとして生まれ変わり, 2年が過ぎました. 本研究グループでは, 多様な技術要素や応用分野を有する情報光学の研究分野に対応し, より密度の濃い議論や情報交換をするため, 複数のワーキンググループを設置して活動し

ています。すでにそのいくつかも研究の流れに合わせて刷新されています。このたび、情報フォトニクスに関する研究を総括し、今後を模索する場として秋合宿を行います。また、今回は特に将来を担う学位取得前後の若手研究者に講演していただく機会を設けました。情報フォトニクスに興味のある方々の参加をお待ちしています。

内 容：

- ・3次元画像入出力と網膜投影ディスプレイ  
高橋秀也 (大阪市大)
- ・“ホロプリンター”と3次元情報表示  
山口雅浩 (東工大)
- ・シリコン視覚野  
八木哲也 (阪大)
- ・フォトニック DNA コンピューティング  
小倉裕介 (阪大)
- ・情報セキュリティ技術における光学技術  
野村孝徳 (和歌山大)
- ・コヒーレント光波ニューラルネットワーク  
川田宗太郎 (東大)
- ・光並列顔認識システムとその応用展開  
渡邊恵理子 (日本女子大)
- ・爪を記録媒体とする3次元光メモリー  
田北啓洋 (徳島大)
- ・複眼光学系を用いたマルチモーダル情報入力装置の開発  
生源寺類 (阪大)
- ・超短光パルスを用いた3次元空間情報の時空間光情報形態変換  
岩本匡平 (ソニー)
- ・3次元情報フォトニクスワーキンググループ活動報告
- ・Bio-Inspired Information Photonics ワーキンググループ活動報告

参加費：一般 20,000 円，学生 12,000 円

申込締切：2004 年 8 月 20 日

定 員：30 名 (定員になり次第締切)

問合せ先：大阪市立大学 宮崎大介

電話 06-6605-2877 Fax 06-6605-2769

E-mail: miyazaki@elec.eng.osaka-cu.ac.jp

詳細につきましては、情報フォトニクス研究グループのホームページ (<http://www.i-photonics.jp/meetings.html>) をご覧ください。

## 第2回国際ナノフォトニクスシンポジウム阪大 (2nd International Nanophotonics Symposium Handai (INPS 2004))

サブ波長領域、ナノ領域の光学「ナノフォトニクス」の著名な研究者を国内外から招待して、ナノフォトニクスの最先端研究について議論する国際シンポジウムです。第2回の今回は、特に、金属表面でのプラズモンポラリトンの研究「プラズモニクス」に焦点をおきます。プラズモニクスは、プラズモンの近接場光学的な振る舞いにより、ナノフォトニクスの発展において重要な役割を担っています。

期 日：2004 年 7 月 26 日 (月)~28 日 (水)

場 所：大阪大学銀杏会館 (吹田市山田丘 2-2)

主 催：上記シンポジウム実行委員会

共 催：ナノテクノロジー総合支援プロジェクトセンター  
メインテーマ：Plasmonics from fundamental to applications

トピックス：New design and synthesis approaches, Nanosphere, nano-shell, nanowaveguide, Nano metallic tip for detection, Application to novel photonic devices, Electromagnetism on the nano-scale, Others

参加申込み先 (問合せ先)：大阪大学大学院工学研究科応用物理学専攻 河田研究室

〒565-0871 吹田市山田丘 2-1

電話 06-6879-7847 Fax 06-6879-7330

E-mail: inps2@ap.eng.osaka-u.ac.jp

詳しくはホームページ (<http://lasie.ap.eng.osaka-u.ac.jp/INPS2/>) をご覧ください。

## 日本写真学会サマーセミナー2004—デジタル写真と銀塩写真の将来を占う—

期 日：2004 年 8 月 26 日 (木)~27 日 (金)

場 所：人材開発センター富士研修所 (富士 Calm, 富士吉田市新屋 1400)

主 催：(社)日本写真学会

協 賛：(社)映像情報メディア学会, 日本光学会, 日本画像学会, 日本医学写真学会, 画像電子学会, (社)日本印刷学会, (社)日本オプトメカトロニクス協会

聴講費：日本写真学会員・協賛学協会員 20,000 円, 非会員 25,000 円, 学生・シニア会員 15,000 円。

宿泊費：一律 10,000 円

定 員：先着 60 名

申込締切：2004 年 7 月 30 日 (金)

申込先：(社)日本写真学会サマーセミナー係

〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5 東京工芸大学  
内 電話 03-3373-0724 Fax 03-3299-5887

E-mail: spstj@pht.t-kougei.ac.jp

実行委員長：豊田堅二（武蔵野美術大学）

E-mail: toyoken.toyoda@nifty.ne.jp

詳しくは、写真学会のホームページ (<http://www.spstj.org/>) をご覧ください。

### 第23回レーザ・センシング・シンポジウム

期 日：2004年9月16日（木）、17日（金）

場 所：筑波山ホテル青木屋（つくば市筑波753-1）

主 催：レーザレーダ研究会シンポジウム実行委員会

参加費：一般12,000円，学生2000円。参加費には講演要旨集代金が含まれています。シンポジウムに参加されない同伴者の宿泊受付もしています（参加費不要）。宿泊費9,000円。懇親会費3,000円。

申込方法：ホームページ (<http://www-lidar.nies.go.jp/lss23/>) をご参照ください。

発表申込受付期間：5月17日～7月23日

参加申込受付期間：5月17日～8月16日

原稿提出受付期間：7月23日～8月16日

プログラム：特別講演（9月16日）

「大気放射収支研究におけるライダー観測の展望」

中島映至（東京大）

発表形態（予定）：

口頭発表；発表時間10分，質疑応答2分。

ポスター発表；発表時間60分，ポスターサイズ；横72cm×縦101cm

問合せ先：国立環境研究所 杉本伸夫

電話 029-850-2459 Fax 029-850-2579

E-mail: lss23@lidar.nies.go.jp

### 第13回日本バイオイメーシング学会学術集会

期 日：2004年11月5日（金）～7日（日）

場 所：京都府立医科大学 図書館ホール・基礎医学学舎  
講義室（京都市上京区河原町広小路梶井町465）

主 催：日本バイオイメーシング学会

スケジュール：

11月5日（金）13：00～17：00

公開シンポジウム「光による生体機能の計測と操作」

11月6日（土）～7日（日）学術集会

シンポジウム「光学顕微鏡によるナノバイオテクノロジー」

シンポジウム「医療とバイオイメーシング」

特別講演・一般講演

参加費：公開シンポジウムは無料。学術集会は正会員：5,000円，学生会員：3,000円，非会員：7,000円。

演題申込締切：2004年7月16日

連絡先：第13回日本バイオイメーシング学会大会 総務  
小山田正人

〒602-8566 京都市上京区河原町広小路梶井町465

京都府立医科大学大学院医学研究科細胞分子機能病理学  
電話 075-251-5322 Fax 075-251-5353

E-mail: bioimage@koto.kpu-m.ac.jp

詳しくは、ホームページ (<http://www2.kpu-m.ac.jp/~pcr/bioimaging/>) をご覧ください。

### 第12回光集積回路欧州会議（12th European Conference on Integrated Optics: ECIO '05）

光集積回路（モノリシックおよびハイブリッド）と導波型光デバイス（受動，能動，非線形光学，フォトニック結晶等）の材料，モデリング，作製および応用に関する論文発表と討論を行います。展示会も並行開催いたします。

期 日：2005年4月6日（水）～8日（金）

場 所：World Trade Center Congress (Grenoble, France)

論文締切：2005年1月7日（金）

問合せ先：大阪大学大学院工学研究科電子工学専攻

榎原敏明 〒565-0871 吹田市山田丘2-1

電話 06-6879-7771 Fax 06-6879-7793

E-mail: suhara@ele.eng.osaka-u.ac.jp

詳しくは、ホームページ (<http://www.minatec.com/ECIO2005/>) をご覧ください。

### 新入会員

#### 個人

| 会員番号      | 氏名    | 所属         |
|-----------|-------|------------|
| A 6103465 | 佐伯 哲夫 | シャープ(株)    |
| 6103466   | 小関 俊政 | (株)メガオプト   |
| 6103467   | 石島 英明 | 日立化成工業(株)  |
| 6103468   | 林 孝和  | 住友スリーエム(株) |
| 6103469   | 浅野 功輔 | キヤノン(株)    |
| 6103470   | 西川 恭生 | ブラザー工業(株)  |
| 6103471   | 頼本 晃良 | 茨城大学       |
| 6103472   | 葉玉 恒一 | 日本電信電話(株)  |
| 6103473   | 小山 敦史 | 日置電気(株)    |

|           |       |              |
|-----------|-------|--------------|
| 6103474   | 國貞 泰一 | 第一稀元素化学工業(株) |
| 6103475   | 山岡 綾史 | (株)日立製作所     |
| B 0029328 | 興 雄司  | 九州大学         |
| 0036068   | 戸田 敦  | (有)インフォテック   |
| 0058609   | 鈴木 貞一 | 富士ゼロックス(株)   |
| 0061548   | 山成 正宏 | 筑波大学         |
| 0064035   | 塩田 達俊 | 東京農工大学       |
| 0064043   | 岡山 透  | 八戸工業大学       |
| 0064164   | 福田 光男 | 豊橋技術科学大学     |

日本光学会 *news* の掲載申込み先：

〒243-0198 厚木市森の里若宮 3-1 NTT フォトニクス研究所 複合光デバイス研究部

神原浩久 電話 046-240-3238 Fax 046-240-4526 E-mail: kanbara@aecl.ntt.co.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成16年度幹事(\*常任幹事)

|              |                 |                 |
|--------------|-----------------|-----------------|
| 幹事長：         | 黒田 和男* (東大)     | 小館香椎子* (日本女子大)  |
| 副幹事長：        | 春名 正光* (大阪大)    | 岩田 耕一 (大阪府大)    |
| 前幹事長：        | 山本 公明 (オリンパス)   | 井出 昌史* (シチズン時計) |
| 庶務幹事：        | 大澤日佐雄* (ニコン)    | 江口 勝* (ペンタックス)  |
|              | 平尾 明子* (東芝)     | 大友 晋哉* (古河電工)   |
|              | 長濱 博幸* (トプコン)   | 植松 晴子* (東京学芸大)  |
|              | 神原 浩久* (NTT)    | 門野 博史 (埼玉大)     |
| 『光学』編集幹事：    | 三尾 典克* (東大)     |                 |
|              | 裏 升吾 (京都工繊大)    |                 |
| 『OR』編集・出版幹事： | 植田 憲一* (電通大)    | 一岡 芳樹 (奈良高専)    |
|              | 高橋 信明 (防衛大)     |                 |
| 国際協力幹事：      | 富田 康生 (電通大)     | 大津 元一 (東工大)     |
|              | 立野 公男 (日立)      |                 |
| 将来問題担当幹事：    | 岩井 俊昭 (北大)      | 山崎 章市 (キヤノン)    |
|              | 辻岡 強 (大阪教育大)    |                 |
| 企画・事業担当幹事：   | 春名 正光 (大阪大)     | 小館香椎子 (日本女子大)   |
|              | 仲間 健一 (日本板硝子)   | 渡部 文男 (富士写真光機)  |
|              | 増田 浩二 (リコー)     | 山下 敦司 (コニカミノルタ) |
|              | 鈴木 貞一 (富士ゼロックス) | 吉田 慎也 (シャープ)    |
|              | 宮崎 大介 (大阪市大)    | 阿山みよし (宇都宮大)    |
|              | 有本 英伸 (産総研)     | 佐藤 彰 (コニカミノルタ)  |
|              | 岡田 英史 (慶応大)     | 三浦 則明 (北見工大)    |
|              | 宮城 光信 (東北大)     | 安達 正明 (金沢大)     |
|              | 藤原 巧 (長岡技大)     | 庄司 一郎 (分子研)     |
|              | 野村 孝徳 (和歌山大)    | 早崎 芳夫 (徳島大)     |
|              | 入江 正浩 (九州大)     |                 |